

## 令和5年度 南砺市農業再生協議会 臨時総会 議事録

1 総会の種類 臨時総会

2 開催の日時 令和5年12月18日(月) 午後2時00分から午後2時50分まで

3 開催の場所 南砺市役所 別館 3階 大ホール

4 出席会員について

(1) 会員数 11名

(2) 出席会員 9名

氏名	職名	氏名	職名
岩佐 崇	南砺市ブランド戦略部長 南砺市担い手育成総合支援協議会長	岡村 俊一	南砺市農業委員会長
上田 憲仁	なんと農業協同組合 代表理事組合長 なんと地域水田農業推進協議会長	幅田 浩司	福光農業協同組合 代表理事組合長 福光水田農業推進協議会長
齊藤 一夫	南砺市農業者会長	神村 善一	農業法人代表 (有)ファームズエンジニア福光 代表取締役
岩崎 修	富山県農業共済組合 理事	定司 俊憲	土地改良区代表 (南砺市土地改良区 理事長)
上田 悦郎	集落営農組織等代表 (福光協業組織協議会長)		

(3) 委任状 2名

氏名	職名	氏名	職名
土田 英雄 (代 古瀬 悟)	となみ野農業協同組合 代表理事組合長 となみ野地域水田農業推進協議会長	上口 長博	山間地域農業組織代表 ((公財)五箇山農業公社 理事長)

(4) 助言者 2名

氏名	職名	氏名	職名
漆間 利明	北陸農政局富山県拠点 地方参事官	今堀 志朗	富山県砺波農林振興センター次長

(5) 事務局

前山 浩 南砺市農業再生協議会幹事長 (南砺市ブランド戦略部農政課長)  
 横井 勇昭 南砺市農業再生協議会事務局 (南砺市ブランド戦略部農政課農産振興係長)  
 谷口 繁慶 南砺市農業再生協議会事務局 (南砺市ブランド戦略部農政課農政係長)  
 内山 葵 南砺市農業再生協議会事務局 (南砺市ブランド戦略部農政課農政係)

## 5 臨時総会次第

- (1) 開会
- (2) 挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人の選任
- (5) 議事

議案第 1 号 役員変更について

議案第 2 号 令和 6 年産米の需給調整に関する取組方針（案）及び生産目標（案）の提示について

- (6) その他
- (7) 閉会

## 6 審議経過

### (1) 開会

午後 2 時 00 分、前山幹事長から令和 5 年度南砺市農業再生協議会臨時総会の開会が宣言された。

### (2) 挨拶 岩佐会長

本日は、年末のお忙しいところご出席をいただき、誠にありがとうございます。

国では、10 月に米の需給見通し等を公表されましたが、令和 6 年産米の生産量を令和 5 年産米と同水準とされ、県段階の生産目標も示されました。

本日は、令和 6 年産米の生産目標数量等について、慎重にご審議をいただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げまして、開会の挨拶といたします。

### (3) 議長選出

前山幹事長から会員 11 名のうち本人出席 9 名、委任状提出 2 名（うち代理出席 1 名）であり、出席が会員の過半数を超えており、南砺市農業再生協議会規約第 15 条第 1 項により本総会が成立する旨報告された。続いて、総会の議長については、本規約第 13 条第 2 項に総会の出席会員の中から選出するとあるが、慣例では、会長が議長を務めているので、本総会も岩佐会長を議長とする旨諮ったところ、全会一致で承認され、岩佐会長を議長として選出した。議長から議事の円滑な進行への協力をお願いする旨挨拶があり、その後、議事録署名人の選任に入った。

### (4) 議事録署名人の選任

議長から本会の議事録署名人として、岩崎 修氏及び神村 善一氏の両氏を指名し、出席者の了解を得た後、議案の審議に入った。

### (5) 議事

#### 【議案第 1 号 役員変更について】

議長が議案第 1 号を上程し、事務局から農業委員会長の交代に伴い役員の変更となる旨説明がされた。

その後質疑に入ったが、質疑はなく議案第 1 号は全員の拍手をもって承認可決された。

【議案第2号 令和6年産米の需給調整に関する取組方針（案）及び生産目標（案）について】

議長が議案第2号を上程し、事務局から令和6年産米の需給調整に関する取組方針（案）及び生産目標（案）の提示についての説明がされた。

その後質疑に入った。

A会員より、市としてどのように輸出を促進していくのかとの質問に対し、市からは、農協の戦略等に基づき進めていくとともに、県の事業等を活用しながら支援していきたいと回答があった。また、A会員からは、取組み易い米転作を推進していくためにも、米粉の価格面等において一層の生産環境整備をお願いしたいとの意見があった。

B会員からは、土地改良事業の現状について、多くの要望に対して実態が追い付いておらず、採択決定まで5～10年はかかる見込みであること、農地所有者等の多くが高齢で10年も待てないという現状がある一方、これ以上、本市への予算配分も見込めない状態である旨報告があった。

その後質疑はなく議案第2号は全員の拍手をもって承認可決された。

(6) その他

議長から助言者である北陸農政局富山県拠点へ農業情勢についての説明を依頼し、漆間地方参事官から米の需給見通し、民間在庫の状況や米の取引価格等、米をめぐる状況に続き、水田活用直接支払交付金、畑地化促進事業及び高温対策栽培体系への転換支援等、各種支援事業について説明がされた。

次に、議長から同じく助言者である富山県砺波農林振興センターへ農業情勢についての説明を依頼し、今堀次長から富山県適正農業規範（とやまGAP規範）の改訂点について説明がされた。

議長は、全ての議事が終了したので、議事の進行に対する謝辞を述べ、降壇した。

(7) 閉会

午後2時50分、前山幹事長から令和5年度南砺市農業再生協議会臨時総会の閉会が宣言された。